

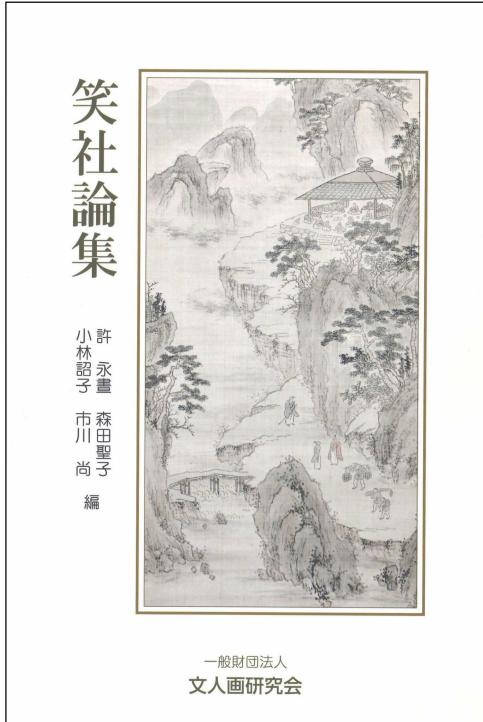
新刊書のご案内

笑社論集

頼山陽がつくった文人結社、「笑社」の宣言書《笑社記》。

律詩の来歴について頼山陽が社友と議論した《論詩声律集》。

頼山陽亡き後、浦上春琴の画論を社友が評した《論画詩》など、江戸時代の頭脳集団が結集した「笑社」の真の姿が、今ここに現代語訳で蘇る。



目次

解説

笑社記 (頼山陽)

笑社記 (『山陽遺稿』文集・巻七)

笑社記 (現代語訳)

附録「真社約」(現代語訳)

論詩声律集

論詩声律集 (江馬細香自筆抄本 [全])

論詩声律集 (現代語訳)

論画詩 (浦上春琴)

論画詩 (参考図版)

「論画十首之一」詩書幅

『論画詩』稿本三種

論画詩 (現代語訳)

続論画詩 (現代語訳)

文画誘掖 (中林竹洞)

文画誘掖 [文政版] (現代語訳)

文画誘掖 [弘化版] (現代語訳)

茗讌品目 (山本梅逸)

図版 (『茗讌品目』[全])

引言／跋 (現代語訳)

「柳陰勘書図」考

沈宋体と沈韻について

あとがき

謝 辞

参考文献

索引

A5判／368頁／本体 3,500円 (+税) ／ 2021年9月26日刊

取扱 汲古書院